



減ることのない 交通事故 事故を防ぐ最善策とは

事故に遭わない、事故を起こさないために、
私たちはどういったことに注意して行動すればいいのか。
菊川警察署交通課 多田義人課長に話を聞きました。

事故の発生原因 ほとんどが不注意による

事故の発生原因は、無謀な運転や気の緩み、運転時の体調、道路状況によるものなど、さまざま考えられます。ですが、ほとんどの場合が過失、つまり不注意によるものです。過失は「認知ミス」、「判断ミス」、「操作ミス」の三つに分けることができます。

人は危険を認知し、どうしたらよいか判断し、行動に移します。そのどこかでミスがあると事故を起こします。漫然と運転していると危険を認知するのが遅れてしまいますし、運転時に誤った判断をすれば事故となります。アクセルとブレーキを間違えといった操作ミスをしてしまうことも事故の原因です。

車を運転する人も歩行者も、危険は常に存在するという認識をもっていただきたいです。また、車は便利な乗り物ですが、一歩誤れば凶器になり得るということを意識して運転してください。

事故防ぐ最善策 ルールを守ること

事故はほんの少しの意識で防ぐことができます。交通安全は、ルールとマナーを守ることの両方が不可欠です。定められたルールである道路交通法を守ることが大前提。そして、相手に恐怖心や不快

いために意識できること

【バイク】



- ・ 曲がり角やカーブの手前では減速する
- ・ 信号待ちで無理な割り込みをしない。車両の死角に入ってしまう巻き込みの原因となる
- ・ ヘルメットは必ず着用。曇り止めを有効に使用して視界を確保する
- ・ 蛇行運転など危険な運転はしない
- ・ 雨天時は滑りやすいことを念頭に置く

【自動車】



- ・ 交差点や物陰など周囲の状況に注意した気配り運転をする
- ・ シートベルトとチャイルドシートは必ず着用する。後部座席に乗る人も忘れずに着用
- ・ 夕暮れ時は早めのライト点灯を
- ・ 運転中は携帯電話を使用しない
- ・ 飲酒運転は絶対しない、させない